

—読売広告社 都市生活研究所—

住民が「愛着」や「誇り」を感じる街をランキング
『シビックプライドランキング2021』発表

シビックプライド 総合1位は「港区」から「中央区」へ

関東TOP5は、「中央区」「藤沢市」「港区」「武蔵野市」「目黒区」

関西TOP5は、「西宮市」「箕面市」「吹田市」「明石市」「神戸市」

株式会社 読売広告社（本社：東京都港区 代表取締役社長：藤沼大輔、以下 当社）都市生活研究所では、この度、住民の街への評価を明らかにする“シビックプライド調査 2021※”を実施し、そのランキング集計の結果概要を発表いたします。

近年、シビックプライド醸成のための取組を進める自治体も多く、全国的に関心が高まっております。当社は2008年より市民や街に関わる人たちが、その地域、街に対して持つ意識「シビックプライド」に関する研究を行っています。定期的実施しているランキングに、今回コロナ禍による影響と思われる変動もみられました。

※調査対象：関東圏・関西圏における住民人口10万人以上の自治体(151自治体) 20歳～64歳男女 居住者
「シビックプライド／CivicPride」は、株式会社読売広告社の登録商標です。



シビックプライド ランキング

総合ランキング

1位	中央区	東京都
2位	西宮市	兵庫県
3位	藤沢市	神奈川県
4位	港区	東京都
5位	武蔵野市	東京都

愛着ランキング

1位	中央区	東京都
2位	武蔵野市	東京都
3位	西宮市	兵庫県
4位	藤沢市	神奈川県
5位	港区	東京都

誇りランキング

1位	中央区	東京都
2位	港区	東京都
3位	鎌倉市	神奈川県
4位	藤沢市	神奈川県
5位	目黒区	東京都

共感ランキング

1位	中央区	東京都
2位	港区	東京都
3位	吹田市	大阪府
4位	目黒区	東京都
5位	箕面市	大阪府

継続居住意向ランキング

1位	中央区	東京都
2位	西宮市	兵庫県
3位	藤沢市	神奈川県
4位	港区	東京都
5位	武蔵野市	東京都

他者推奨意向ランキング

1位	西宮市	兵庫県
2位	藤沢市	神奈川県
3位	中央区	東京都
4位	武蔵野市	東京都
5位	目黒区	東京都

シビックプライド／Civic Prideとは

シビックプライドとは、その都市に対する誇りや愛着のことで、都市をより良い場所にするために自分自身が関わっているという当事者意識に基づく自負心といえます。

総合ランキング 1位～40位 結果

Civic Pride
RANKING

総合
ランキング

	総合ポイント	前回順位		総合ポイント	前回順位
↑	1位	中央区	東京都	745.2	8位
→	2位	西宮市	兵庫県	733.2	2位
↑	3位	藤沢市	神奈川県	731.9	12位
↓	4位	港区	東京都	725.1	1位
→	5位	武蔵野市	東京都	722.9	5位
↓	6位	目黒区	東京都	716.4	4位
↓	7位	箕面市	大阪府	712.8	6位
↓	8位	文京区	東京都	712.6	3位
↑	9位	鎌倉市	神奈川県	711.9	15位
↑	10位	渋谷区	東京都	709.8	11位
↑	11位	品川区	東京都	707.8	24位
↓	12位	吹田市	大阪府	706.5	9位
↑	13位	立川市	東京都	705.6	55位
↑	14位	明石市	兵庫県	705.1	23位
↓	15位	神戸市	兵庫県	704.1	13位
↑	16位	茅ヶ崎市	神奈川県	701.5	26位
↓	17位	浦安市	千葉県	699.6	14位
↑	18位	世田谷区	東京都	694.2	67位
↑	19位	新宿区	東京都	693.1	47位
↑	20位	海老名市	神奈川県	692.6	37位
↑	21位	生駒市	奈良県	691.4	27位
→	22位	台東区	東京都	684.3	22位
↑	23位	杉並区	東京都	683.4	35位
↑	24位	中野区	東京都	681.0	44位
↓	25位	高槻市	大阪府	679.6	10位
↑	26位	奈良市	奈良県	673.6	39位
↑	27位	伊丹市	兵庫県	672.7	45位
↓	28位	豊中市	大阪府	672.1	18位
↑	29位	高崎市	群馬県	671.7	50位
↑	30位	栃木市	栃木県	670.4	94位
↓	31位	三鷹市	東京都	665.7	16位
↑	32位	流山市	千葉県	663.8	52位
↓	33位	江東区	東京都	663.6	17位
↑	34位	府中市	東京都	662.7	40位
↓	35位	京都市	京都府	662.6	28位
↑	36位	枚方市	大阪府	661.8	76位
↑	37位	小金井市	東京都	660.7	91位
↑	38位	堺市	大阪府	660.6	63位
↑	39位	草津市	滋賀県	656.9	51位
↑	40位	調布市	東京都	656.7	43位

■ランキング 集計方法について

総合ランキングのポイントとは、「愛着」「誇り」「共感」「継続居住意向」「他者推奨意向」5指標のスコアを足し上げし、1000点満点化したものです。

なお、5指標のスコアについては、以下質問内容を[非常にあてはまる～まったくあてはまらない]の7段階で聴取し、[非常にあてはまる]を7点～[まったくあてはまらない]を1点とし、平均値を算出しています。

【愛着】 「この街に愛着を持っている」

【誇り】 「この街に誇りを持っている」

【共感】 「この街（のあり方）に共感している」

【継続居住意向】 「今後もこの街に住み続けたい」

【他者推奨意向】 「この街を人にも勧めたい」

総合ランキング結果 上位のポイント

総合ランキング 関東1位・関西1位について

■<総合1位(関東1位)> 中央区(東京都)

2021年 東京オリンピック・パラリンピックにおける選手村などでも注目を集めた中央区が前回8位からさらに順位をあげて1位になりました。今回調査では、居住する街への評価や街との関わり方に関して、「お気に入りの場所がある」「街の散策や散歩をする」「なじみのお店を通じた人づきあいがある」といった項目で、他自治体よりも高い傾向がみられました。また、ウェルビーイング指標（Better Life Index）の構成要素の1つとしてもあげられる住宅に関する評価においても上位となっており、ファーストプレイスとしての住まい、サードプレイスとなるお気に入りの散策先やお店の存在、などが高評価を支えているポイントのようです。

■<総合2位(関西1位)> 西宮市(兵庫県)

教育・文化、街の景観、利便性など様々な項目で高い評価を得た西宮市が前回に引き続き2位となりました。今回調査では、そのような環境面の評価に加え、「もっと良い街にしたい」「市民として発言できる機会が確保されている」といった市民の街づくりに対する意識の高さも目立ちました。

総合ランキング 上位のトピック

■コロナ禍が生んだ新たな価値観が、自身が住む街の評価のきっかけに

3位に入った藤沢市をはじめ、鎌倉市（9位）茅ヶ崎市（16位）といった神奈川県湘南エリアの自治体が前回から順位をさらにあげて上位にランキングしています。なかでも藤沢市や茅ヶ崎市は、街に対する気分として「ゆったり、のびのびできる、健康的な、ワークライフバランスのとおりやすい」などが他自治体よりも高い評価となっています。コロナ禍によって、都心と自然豊かな郊外のデュアルライフ（二拠点生活）や、プライベート活動を大事にするライフスタイルなどに注目が集まったことが、すでにそこに住んでいる市民が、自分達のライフスタイルや街の価値を改めて感じるきっかけになったと思われる。

■進む在宅ワークによる地元経済圏の利用から街の魅力を実感

立川市（13位）、世田谷区（18位）、中野区（24位）といった東京西部のエリアでランクアップが目立っています。コロナ禍以前は、ベッドタウンとして寝るだけの街として利用していた人が、在宅ワークの推進などにより1日をともに暮らす街として利用しはじめたことで、はじめて自分の住む街の魅力に気が付いたケースも多かったことが考えられます。今回調査では、立川市、中野区とも「飲食店が充実している」が他自治体や前回調査よりも高い評価となりました。

■行政として明確な特徴をメッセージし続ける街の評価が浸透

行政としても子育て支援に積極的に取り組む明石市（14位）や流山市（32位）のランキングが前々回*、前回調査からあがりつづけています。今回調査でも、「安心して子育てができる」は明石市、流山市とも他自治体を上回る評価となっています。なお、この2市は「環境や人口問題など社会課題に積極的に取り組んでいる」に関する他自治体を上回っており、単に自分がサービスの受け手として感じる“子育てのしやすさ”が評価されるだけでなく、行政としての姿勢を評価する傾向があるといえそうです。

*一部調査設計が異なるため参考値

ーシビックプライドランキング2021 リーフレット ※2022年4月上旬制作予定ー

今回の「シビックプライド調査 2021」について、総合ランキングの41位以降順位も掲載した「シビックプライド ランキング 2021 リーフレット」を2022年4月上旬以降に制作予定です。自治体関係者のみなさまで、ご興味のある方は、以下のアドレスまでご連絡ください。ご希望される方に、PDFファイルにてお送りさせていただきます。

メールアドレス： cpride-rg@yomiko.co.jp

シビックプライド調査2021 概要

■ 調査方法

インターネット調査

■ 調査対象者

以下対象エリアの自治体に住む 20歳～64歳の男女

■ 調査対象エリア

関東圏（1都6県）、関西圏（2府4県）における人口10万人以上の151自治体

－対象自治体一覧－

関東圏						関西圏	
<東京都>	八王子市	平塚市	木更津市	加須市	足利市	<京都府>	<兵庫県>
中央区	町田市	茅ヶ崎市	成田市	ふじみ野市	佐野市	京都市	神戸市
港区	府中市	厚木市	我孫子市	富士見市	那須塩原市	宇治市	姫路市
新宿区	調布市	大和市	鎌ヶ谷市	坂戸市	<大阪府>	<大阪府>	西宮市
文京区	西東京市	小田原市	<埼玉県>	<茨城県>	大阪市	大阪市	尼崎市
台東区	小平市	秦野市	さいたま市	水戸市	堺市	堺市	明石市
墨田区	日野市	鎌倉市	川口市	つくば市	東大阪市	枚方市	加古川市
江東区	三鷹市	海老名市	川越市	日立市	枚方市	豊中市	宝塚市
品川区	立川市	座間市	所沢市	ひたちなか市	吹田市	吹田市	伊丹市
目黒区	東村山市	伊勢原市	越谷市	古河市	高槻市	高槻市	川西市
大田区	多摩市	<千葉県>	草加市	土浦市	茨木市	茨木市	三田市
世田谷区	武蔵野市	千葉市	春日部市	取手市	八尾市	八尾市	<滋賀県>
渋谷区	青梅市	船橋市	上尾市	筑西市	<群馬県>	<群馬県>	大津市
中野区	国分寺市	松戸市	熊谷市	<群馬県>	高崎市	高崎市	草津市
杉並区	小金井市	市川市	新座市	高崎市	前橋市	前橋市	岸和田市
豊島区	東久留米市	柏市	狭山市	前橋市	太田市	太田市	和泉市
北区	昭島市	市原市	久喜市	伊勢崎市	宇都宮市	宇都宮市	守口市
荒川区	<神奈川県>	八千代市	入間市	桐生市	小山市	小山市	箕面市
板橋区	横浜市	流山市	深谷市	<栃木県>	羽都宮市	羽都宮市	門真市
練馬区	川崎市	佐倉市	朝霞市	<栃木県>	宇都宮市	宇都宮市	大東市
足立区	相模原市	習志野市	戸田市	宇都宮市	小山市	小山市	松原市
葛飾区	藤沢市	浦安市	三郷市	小山市	羽都宮市	羽都宮市	富田林市
江戸川区	横須賀市	野田市	鴻巣市	栃木市	羽都宮市	羽都宮市	羽都宮市

■ 調査内容

- ・現在 住んでいる街（自治体）に対する意識
 - －街に対する意識（愛着、誇り、共感、継続居住意向、他者推奨意向、地域とのつながり など）
 - －街の環境評価（インフラ、街並み、治安、地域イベント、育児環境、SDGs（ジェンダー平等） など）
 - －街に対して感じる気分や気持ち
- ・居住歴 ・ウェルビーイングに関する評価 ・生活満足度 など

■ 有効回収数

15,300s ※各自治体100s以上

■ 調査時期

2021年12月17日～12月22日

● 会社概要

株式会社読売広告社 <https://www.yomiko.co.jp/>

■ 代表者 : 代表取締役社長 藤沼大輔

■ 所在地 : 東京都港区赤坂5-2-20 赤坂パークビル

お問い合わせ先

■ 本リリースについて

総務・広報部 : 田代、大瀧 TEL 03-5544-7104

■ シビックプライド調査2021について

都市生活研究所 生活者フォーサイト研究ルーム : 関、青山

メールアドレス cpaide-rg@yomiko.co.jp